



SENJU JUKU

400th
since 1625



～江戸時代から学ぶエコな生活～

＼令和7年は千住宿開宿400年！①／



千住宿はどんなところだったのかな？

江戸時代のリーダー
みんなが安心してくら
せるように、決まりを
作ったりしていたよ。

私が400年前に作った、昔の人が旅行の途中で泊まったり
するところじゃ。現在は、商店街としてにぎわっているぞ。



3代將軍
徳川 家光

赤丸の所、現在の北千住駅周辺
が千住宿と言われています。
江戸四宿(五街道の初宿)の中
でも最大の人口(約1万人)を誇
り、大いに栄えていました。



＼令和7年は千住宿開宿400年！②／



400年前!!400年前の千住ではどんな暮らしをしていたのかな？



400年前は江戸時代と言って、とてもエコな暮らしをしていたのじゃ。



エコな暮らし？



技術が今の時代ほど発達していなかった分、人々の知恵や工夫でエコな暮らしをしていたのじゃ。
その代表例を3つ紹介しよう！

江戸時代のエコな文化／

現代にも生かせる「エコ」な取り組み！



その1 植物資源を上手に使う



その2 最後までリサイクル



その3 買いためをしない

江戸時代の暮らしには、現代の私たちのお手本となる「エコな暮らし」のヒントがたくさんつまっています。技術は今ほど発達していませんでしたが、人々の知恵や工夫が生活に活かされていました。

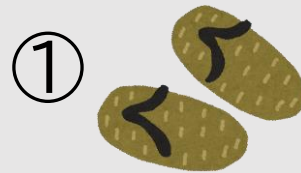


江戸時代のエコな文化／

その1 植物資源を上手に使う



稲作で収穫した藁^{わら}を捨てずに、
①日用品 ②堆肥 ③燃料
として余すところなく活用して
いたよ！



令和なら



植物から生まれた製品を買うことも、地球環境を守ること
につながります。

江戸時代のエコな文化／

その2 最後までリサイクル

衣類のほとんどは古着！

さらに着なくなった衣類は、
オムツやぞうきん雑巾にリサイクル。
最後はかまどの燃料にして
いました！



令和なら



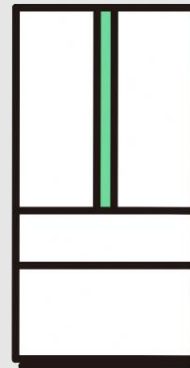
ペットボトルをリサイクルボックスに入れたり、リサイクル製品を積極的に利用することは、とても大事なことです。

江戸時代のエコな文化／

その3 買いだめをしない



江戸時代は、その都度必要な分だけ買うため、食品ロスもありませんでした！



買い過ぎて…



食べきれない
腐らせる



令和なら

「不要なものは買わない」「食べきれ分だけ買う」という考え方はとても大切ですね。



とりいれてみよう！ 江戸時代のエコな暮らし

私たちは、たくさんのものに囲まれて、便利で快適に暮らしています。
しかし、「まだ使えるものを捨てる」「まとめ買いをして結局腐らせて捨てる」
こんなことをしていませんか？
快適な暮らしを未来につなげていくためにも、江戸時代をヒントに、
できることから始めてみましょう！

